

相模湾沿岸地域の魅力を高める構想づくり

第三回グリーンハウス保全再生検討ワークショップ

日時:2005年12月17日(土)15:30~@グリーンハウス

議事要旨

学生提案に対して

- GHの歴史的前提を押さえた提案を期待。
- 環境的な側面についてはいろいろな視点から整理されている。
- 体育センターの中心、特定機能を持っていないフリーなエリアになっている、ことに着目しているのは共通。
- 地形を重要視している。
- グリーンハウスの立地条件として、三つの動線が集まる場所、ひとつの手がかりに。
- 空間でなく利用時間を拡大して行こうという提案。
- 周辺の整備の提案、景観的に邪魔？体育センターにとって必要な機能。どこに再整備すればよいのか？それも提案して欲しい。
- GHを文化的機能にする場合、食堂機能の代替施設、どこに配置？

グリーンハウス保全再生コンセプト(案)について

- 施設利用の対象
 - ◇ 「一般市民」とは曖昧では？ 「地域住民」であろう。
- クラブ組織の運営
 - ◇ クラブ組織が会費収入を取るようになると、閉鎖的な組織・使われ方になってしまうのでは？
 - ◇ 体育センターを利用する様々な団体は、会員としてまとめて利用。
 - ◇ 地域住民にも解放。利用費を取る。
- コンセプト
 - ◇ 「昭和初期の邸園文化に親しむ」とあるが、昭和初期だけでなく藤沢宿など他にもある。もう少し広く捉えるべき。
 - ◇ 若い子供たちもこの場に接することができる場に。次世代の人が「この建物はいいね～」と感じてもらえるように。
 - ◇ スポーツコミュニティ形成の中心として持続可能に運営できるよう、稼げる施設にすべき。
 - ◇ 二階の食堂、どの程度の食堂にするべきか？議論すべき。
 - ◇ 一階部分は具体的に決めることは難しいのでは？一般の人たちとの交流の場。そういう意識で。外部空間とのつながりをうまく利用できるように。
- 実現に向けて
 - ◇ 総論的にはスポーツコミュニティのような考え方で進めていく。
 - ◇ 三回のWSの後の、具体的な行動計画を考えるべき。
 - ◇ 傷みが激しい。建物についての本格的な調査も必要になってくる。
 - ◇ このWSを機会に集まった人間が、これをフォローしていくのか？ここにはいろんな立場の方々がいらっしやる。手を取り合って作業を進めていかないと、整備や運営をしていくのは難しいのではないか？
 - ◇ 有志が中心となり、県が音頭を取って、何かの形でこの議論を継続したい。
 - ◇ 地域住民も含めて、利用度を高めていくことは、今後さらなる議論を要する。
 - ◇ 運営については行政だけが担う時代ではない、市民と一緒に自立的にできるのが望ましい。
 - ◇ この集まりをさらに生かして行く。ネットワークを活かしていくことについても、県に提案する。
 - ◇ 神奈川県体育協会が、体育センターを利用する種目団体の連絡をとっている。小学校、中学校などの個人的な利用者間の連絡は、中学校体育連盟、高校体育連盟など。連携を図って検討していきたい。

学生発表

A班

- 周辺を整備した公園計画。
- 生かすべき店。
- そのものの魅力。
- 小高いところに位置する。
- 更衣室、トイレなど付属施設を。
- 周辺を操作することでこの場の魅力をアップさせる。
- 動線を複数確保し、どこからも見えるようにする。
- 駅、正門、南門からのアプローチからの視点場、どこからも見えるように。
- GHを囲むように、どこからもアクセス。
- 周辺に生まれる3エリア。
 - ◇ 01 駅から
 - ◇ トイレ撤去、ファサードが解放、見え隠れ
 - ◇ ボイラー室などを整備
 - ◇ 02 陸橋
 - ◇ ゆるいスロープ上に
 - ◇ 03 谷
 - ◇ 見上げるGH
 - ◇ 様々な角度から見上げる
 - ◇ 本館前のスペースとの関係
 - ◇ 円弧のデッキ(つり橋ではなく)
 - ◇ 周遊できる、様々な視点から見えるように
- 基本はレーモンドの計画を生かす。

B班

- 動線の再構成。
- 独自の高低差。
- 三つの動線の再構成。
- トイレ、更衣室を撤去。
 - ◇ 遠方から見える、認知度を上げる。
- 18ホールにスポーツ施設に囲まれ。
 - ◇ 当初の動線は残っておらず。
 - ◇ 当初計画した、軸線を通しながら、新しく動線を通す。
- グリーンハウスの機能。
 - ◇ 文化的価値を生かす。
 - ◇ 一般利用。
 - ◇ 二次的機能挿入。
 - GHだけで完結しない。
 - 機能分担。
 - 外部とリンク 外部からの魅力を増幅。
 - ◇ シネマテーク。
 - 平日はひっそり。
 - 地下シネマコンプレックス(谷が入り口)。
 - 映画を収集・保存。

C班

- 放置自転車あり。
- 一階暗い。
- 建物修復、機能、利用 きれいに保たれる。
- 新たな機能:前庭から広がる敷地。
- ゴルフコースのためのGHだった。現在は、運動施設内に存在しているだけ。
- 運動施設の活性化ではなく、地域に根ざした市民利用。

- 市民のためのGHに。
- 魅力
 - ◇ 南側のテラス
 - ◇ 構造
 - ◇ 装飾
 - ◇ 立地条件高低さ
 - ◇ GHの歴史
- 「前庭からつながる新たな利用空間」
- 駐車場を活用
- 木々にたたずむGHも魅力
- ボリュームを貫入
 - ◇ テニスコート利用者更衣室
 - ◇ 野外ステージの楽屋
- 橋から本館にかけて椅子(野外ステージ)を設置
- 高さを押さえ、GHからの景観に配慮

D班

- 地域住民に知ってもらい、愛着を持って使ってもらい。
- クラブハウスと異なり、周辺環境における位置づけが不明確、孤立。
- 当初のような中心的役割を果たしていない。
- 単体ではなく、周辺との関係性を持たせる GHの再生。
- コンセプト
 - ◇ 新たな機能
 - ◇ GHから周辺をかえる
 - ◇ センタ 全体との関係性を持たせる
 - ◇ 地形の起伏を生かす
- GH + 公園 + 建築
 - ◇ GH周辺の高低差を利用した立体公園
 - ◇ センター全体として建築を設計

E班

- 合宿施設として利用していた。
- 合宿施設 + 文化施設として利用
 - ◇ 合宿施設としての機能を増築として取り出す。
 - ◇ 谷に増設、四層
 - ◇ 四階がGHの二回テラスと同じ高さ
 - ◇ 橋再生？動線が弱い 本館から一本の線で通す
 - ◇ 二階、三階を宿泊施設
 - ◇ GH二階を食堂、多目的
 - ◇ 体育施設利用者食堂は別途
 - ◇ 一階:ギャラリー
 - ◇ 二階、カフェ、レストラン、多目的
 - ◇ 三階:会議室
- F班
 - ◇ 「スポーツ、文化、地域をリンクする」
 - ◇ 広域的に提案
 - ◇ スポーツの中心
 - クラブハウス、レンタサイクル拠点
 - ◇ 文化の中心
 - 旧モーガン邸、旧住友家侯野別邸などの中継点
 - リンクするコースの選定
 - ゴルフコースを創るようランニングコースのイメージ
 - 三キロのコース
 - 地域の史跡とリンクする

- 藤沢氏文化財ハイキングコース
- ◇ 越後妻有トリエンナーレのように、アートのあるところで歩いたり走ったり。
- ◇ GH活用
 - 一階、会議室、アート展示、印レジデンス
 - 二階コース案内カフェ、サロン

質問

- 会場より
 - ◇ かつてはゴルフのコースという歴史、どのように受け止めたら？
- 学生
 - ◇ ゴルフコースを創るようにランニングコースしたりするイメージ。
 - ◇ 今のクラブハウスの復元、ゴルフコースがこれからのランニングコース、周遊コース。18 コース創りたい。地域の皆さんと一緒に考えたい。
- 菅
 - ◇ 広い地域を対象にした提案。
 - ◇ GHだけでなく周辺の環境のあり方に着目・分析。
 - ◇ これから具体的な建築的提案がでてくるだろう。
 - ◇ こういうことを考えては？という注文はあるか？
- 会場より
 - ◇ 10年くらい保存運動している。
 - ◇ GHの歴史、環境……。歴史的前提をどこまで押さえているか？それが無いと。
 - ◇ 建物そのものの調査、研究が必要。
- 菅
 - ◇ このWSは、それをこれから考えて行くための第一歩。
 - ◇ これから専門的な掘り下げ、その第一歩。
 - ◇ 環境的な側面についてはいろいろな視点から整理されている。
 - ◇ 体育センターの中心、特定機能を持っていないフリーなエリアになっている、ことに着目しているのは共通。
 - ◇ 地形を重要視。
 - ◇ 三つの動線が集まる場所、ひとつの手がかりに。
 - ◇ 空間でなく利用時間を拡大して行こうという提案。
 - ◇ 周辺の整備の提案、景観的に邪魔？体育センターにとって必要な機能。どこに再整備すればよいのか？それも提案して欲しい。
 - ◇ GHを文化的機能に。食堂機能の代替施設、どこに配置？
 - ◇ 3月4日にも提案発表。是非素晴らしい提案を期待しています。

第二部

◇ 事務局より、グリーンハウス保全再生コンセプト(案)のプレゼンテーション

ディスカッション

会場より

- ◇ 「一般市民」、はあいまい？
- ◇ 映画館という提案？
- ◇ 関東一円を対象？
- ◇ 「地域住民」であろう。

事務局

- ◇ 体育センター、利用者に、この施設を利用してもらいたい。
- ◇ この施設に寄ってもらうきっかけに。
- ◇ 他のきっかけもありうる。
- ◇ シャワーに限らず、いかに呼び込むか？

服部さん

- ◇ シャワーというより、この施設をどういう目的で残すか？
- ◇ 「集客力を高めるための機能」、として議論しては？

サッカー協会会長 鈴木さん

- ◇ GH、歴史、ゴルフ場、スポーツ施設の合宿所。
- ◇ サッカーの世界でも懐かしい場所。
- ◇ スポーツのクラブハウスの的なものとして残していきたい。

宮田さん

- ◇ クラブ組織という案。
- ◇ 会費収入を取るようになると、閉鎖的な組織、使われ方になる。解放されるように。

菅

- ◇ 二重の輪
 - ◇ 体育センターを利用する様々な団体は、会員としてまとめて利用。
 - ◇ 一般的にも解放。利用費を取る。
- ◇ YC & ACは外国人中心のクラブから日本人も入っているクラブになっている。
- ◇ サッカー協会などのメンバーが入る中核となる組織があるとよい。
- ◇ 運営するための費用も広くみんなで負担。

渥美さん

- ◇ 運営・・・県や市との関係。
- ◇ GHを残す。
- ◇ 藤沢に住む人にとって。
- ◇ 昭和初期だけでなく他にもある。藤沢宿など。もう少し広く。
- ◇ 県が司る施設。
- ◇ 藤沢市の歴史などの機能を生かす。

会場より

- ◇ 近くに住んでいる。
- ◇ グランドを使う学生が昼食時に利用。
- ◇ 若い子供たちもこの場に接することができる場に。
- ◇ 会費を取って運営するのも大事。
- ◇ 二階は誰でも利用できるように。
- ◇ 誰でも来られるのが基本。
- ◇ 次世代の人が「この建物はいいね～」と感じてもらえるように。

大野先生

- ◇ 長期的な提案。じゃあ、どう行動して行くか？
- ◇ 構想計画に出す。県の構想でだめになったら、おしまい？
- ◇ 具体的にどうハードのメンテナンスしていくか？
- ◇ 三回のWSの後も、自分の得意分野生かせるように、より具体的な行動計画を考えるべき。
- ◇ じゃあ誰がやるの？浮いている原因では？

三原さん

- ◇ 第二案のレストラン、興味持っている。
- ◇ 日比谷公園の松本楼、目的持ってみんなが来る。
- ◇ それだけじゃ充足できない。
- ◇ 一階にそのような機能に。
- ◇ 稼げる施設に。運営、維持。
- ◇ ただ税金を食って行くものではなくて。
- ◇ 泥臭く、稼いで行くような...
- ◇ 周りに体育施設、その利用者の利用も考えると、折り合いが難しいと思うが。
- ◇ 傷みが激しい。調査しないと。

山口さん

- ◇ 建物の利用、保存第一
- ◇ 保存するために、中に何を入れるか？「らしさ」が重要。ふさわしい機能を。
- ◇ 二階の食堂、どの程度の食堂にするべきか？議論すべき。
- ◇ 一階部分は具体的に決めることは難しいのでは？
- ◇ 一般の人たちとの交流の場。そういう意識で。
- ◇ 外部空間とのつながり、うまく利用できるような。
- ◇ 交流プラザ。

- 祝勝ガーデンパーティとかの利用。

宮田さん

- ◇ 実際どういう利用がされているか？マスターに聞いてみた。
 - 一番多いのは体育センターと教育センターの食堂としての利用。
 - 教育センターの研修で来た方。
 - 体育センター利用者。
 - 一般利用者の利用はほとんどない。あまり知られていない。
- ◇ 少なくとも近隣だけではなく、藤沢の市民に利用されるようにならないと、採算性として難しいのではないか？
- ◇ 高級とまではいなくても、使い勝手のよいものにすれば、もっと人が来るのではないか？

菅

- ◇ 総論賛成、各論はまだまだ。
- ◇ 三回しか議論の場がない、その上で県に提案しなければならない。制約の中での作業。
- ◇ これを機会に集まった人間が、これをフォローしていくのか？
- ◇ ここにはいろんな立場の方々がいらっしゃる。手を取り合って作業をすすめていかないと、整備や運営をしていくのは難しいのではないか？

河野さん

- ◇ 今後これをどう活用するか？はこれからしっかり議論していく。
- ◇ 第一には、歴史的建造物としてしっかり残す、ということをもっと抑えるべきでは？

菅

- ◇ 建物についての本格的な調査も必要。
- ◇ 今後やることも県に提案すべき。

鈴木さん

- ◇ 今後この集まりをどうしたいのか？ということだと思う。
- ◇ 三回で終わってしまったは何にもならない。
- ◇ 有志が中心となり、県が音頭を取って、何かの形でこの議論を継続したい。

菅

- ◇ この施設を利用しているサッカー、テニスなどのクラブの連絡・交流組織みたいなものはあるのか？

鈴木さん

- ◇ 神奈川県体育協会が種目団体の連絡をとっている。

菅

- ◇ 小学校、中学校などの個人的な利用者は？

鈴木さん

- ◇ 中学校体育連盟、高校体育連盟など。

菅

- ◇ 総論的にはスポーツコミュニティのような考え方で。
- ◇ 地域住民も含めて、利用度を高めていくことは、今後議論したい。
- ◇ そういう方向でまとめてよいか？
- ◇ 運営などについては、行政だけが担う時代ではない、市民と一緒に自立的にできるのが望ましい。
- ◇ この集まりをさらに生かして行く、ネットワークを活かしていくことについても、県に提案して行く。
- ◇ 来週木曜日に県に報告する。

事務局

- ◇ 来年1月21日、湘南邸宅文化ネットワークのシンポジウムが大磯で開催。
- ◇ GHのWSの取組みも紹介する。
- ◇ このWSのまとめを事務局で実施し、報告会(今後どう進めていくかを議論)を二月頭くらいにもちたい。
- ◇ 三月に、四つのWSの報告会を実施。

文責: 關佑也 (株)山手総合計画研究所)